

心よりお見舞い申し上げますとともに 亡くなられた方々には心よりご冥福をお祈りいたします

この度の東日本大震災にて、多くの尊い命が失われたことに、深く哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆様に対して、心よりお見舞を申し上げます。

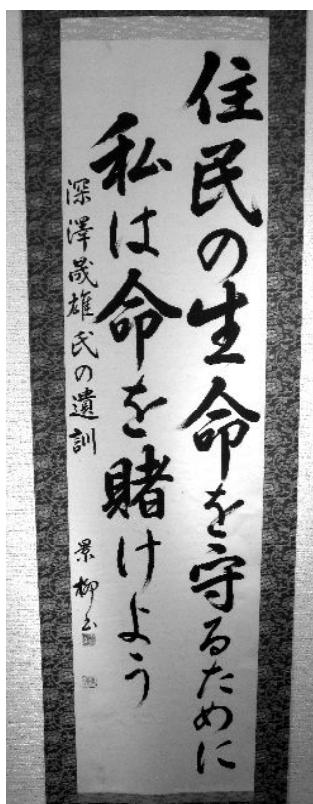
被災された皆様の、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



バイクで保健活動する保健婦さん。左から田中トシさん、高橋ミヨさん、深澤久子さん、千田和可さん

生命が第一であり健康を守り、防災対策を万全にしてこそ、産業基盤の充実であり教育である…。政治の中心は「生命尊重」であるという晟雄さんの考え方を今こそ再認識しましょう。

- ・政治の目的は困った人を助ける事である。
- ・一日一日を健康に生きて、被災地の方々へ自分でやれる範囲で助太刀しよう！



昭和40年～44年に沢内病院で保健婦をしていた千田和可さん（陸前高田市在住）の安否の確認から始まり、和可さんの無事を確認、再会し和可さんの仲介の労により西和賀町の善意を無事に大船渡に届ける事ができました。

救援物資を大船渡に届けました



昭和40年6月7日 陸前高田市から届けられた「愛の苗」

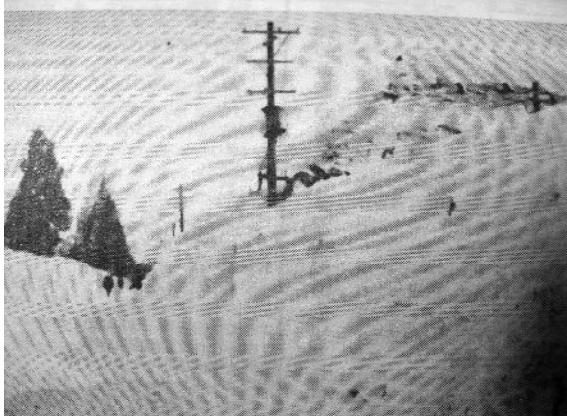
異常気象による冷害時に救援物資を私たちはいただいています

- ・昭和39年11月22日から降り出した雪は、340cmを記録して、豪雪から低温に変り雪が消えたのは平年から1ヶ月遅くなつた。
- ・昭和40年6月7日には、「5年前のチリ地震津波のお礼」と、はるばる陸前高田市から4千束の苗が運ばれて来た。「困ったときはお互いさまだ」と。

昭和40年6月15日発行
「広報さわうち」より



県農協四連から届けられた救援物資は全農家へ配られた 昭和40年6月3日



昭和40年4月2日

昭和39年の冬に降った雪は4月になつてもなかなか消えようとしなかつた。

「晟雄の会」では、今回だけでなく、被災地に救援をするつもりです。その時はまた、ご協力を願いいたします。

(H23年3月に晟雄の会ニュースを発行できなかつたことをお詫び申し上げます)

深澤晟雄資料館／〒029-5614 西和賀町沢内字太田 2-68

TEL & FAX 0197-85-3838
Eメール masao@nisiwaga.net